

今求められる学力の形成に係る教師の指導のあり方

～「発問、助言、指示」のとらえ方を例として～

教師の職務上、果たすべき最も重要な役割は日々の授業の実践にあるといえます。そして、それが自身の授業研究という形で意識され実践されるに至ったとき、改めてその困難さを実感するものではないでしょうか。

授業というものは、教師が意図したとおりに進まない。それは授業が一人一人異なる、しかもその個人においてさえ家庭環境や様々な状況の変化の中にある「子ども」を対象にしているからにほかなりません。

学校教育法30条2項及び改訂学習指導要領においては、今日求められる学力のとらえ方として、①基礎的な知識及び技能の習得 とともに ②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等 ③主体的に学習に取り組む態度 が大切であることが示されました。この学力観では、いわゆる知識習得を主とする目的の授業とは異なる内容が求められています。そしてこのことにより、たとえばこれまでの「発問、助言、指示」などの授業における指導技術といったものは、②や③の点をふまえて、そのとらえ方を新たに再確認していく必要に迫られているといえるでしょう。

そうしたことをもとに考えていくと、教師が授業を創るにあたっては教材研究の中で「発問、助言、指示」を準備し、授業の中でそれをそのまま子どもに与えることは、教師の行った教材解釈の内容に子どもを合わせるということにもなりかねません。

今日求められている学力の核ともいえる子どもの思考力、判断力、表現力といった基礎的知識・技能をもとにした活用能力の育成を図るには、教師が予め組織した「発問、助言、指示」による教師主導になりがちな授業の展開を、授業を構成する基礎的内容として位置づけ直し、何よりもまずは目の前にいる子ども一人一人の目線に立って授業に臨み、その流れの中で一人一人の子どもにどう対峙するかが大切ではないかと考えるのです。

参考・引用「はるか★プラス」2010.11.P46～47(学力の転換で変わる「発問・助言・指示」の意味)横浜国立大学教授 高木展郎

学校教育相談実践講座受講生の感想から

- 自分を知り、子どもたちを知り、分かりあえる関係をつくりたいと思います。それには、ほんの少しの気づきを持って技術をもちいることが大切だと思いました。
- 問題解決をマイナスの面からでなく、プラスの側面からとらえてそこをスタート地点にするなんて、その子をよくしようという教師集団の心意気を感じられて嬉しくなります。子どもを見る眼を広げてよりよい教師集団を作っていきたいと感じました。



子どもたちの心のケアについて

保護者対応～ 信頼される関係づくりのために～
「共感」とは心理的事実の受容

心理的事実の共感とは、保護者対応における最も重要なポイントといえる。多くのクレームは、保護者が「先生は、私の気持ちをよく分かってくれた」と感じとることで、収束にむかう。

保護者への共感とは、保護者の感じ方や気持ちを保護者の立場に立って傾聴し、「あたかも」保護者になりきったように感じ取ることである。孔子の説く「恕」に当たる。

「あたかも」がミソである。全く同じ立場に立って「つらかったでしょうね。私もつらいですよ」と同情することとは違う。あくまでも教師の立場から、保護者の気持ちを感じとろうとすることである。「つらかったと思います。私も同じ立場であったらとてもつらいです」と心から言えるかどうかが鍵になる。

このような姿勢で臨むことによって、「断るべきは断る」「否定すべきはきっぱりと反論する」ことができる。たとえばこんなふうに

母親「欠席を10日以下に書き直してください。」教師「それは残念でしたね。お母さんの『何とかしてあげたい』という気持ち、よく分かります。悔しい思いをされましたね。でも、ごめんなさいね。公文書はかきかえられないのです。」

参考・引用「教職研修」2011.12.P60～61(保護者対応) 立川第一中学校長 嶋崎 政男



教師間のチームづくりの技・力・コツ

= 仲間とつながる力として有効な技や力 =

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| 1. 上手な自己主張でつながる力 | アサーション |
| 2. 組織の中心者としてつながる力 | リーダーシップ |
| 3. 自分の感じ方や考え方を变えてつながる力 | カウンセリング |
| 4. ストレスを上手に処理しつながる力 | ストレスコーピング |
| 5. 話しやすい雰囲気をつながる力 | 自己開示 |
| 6. 相手の話を聴くことでつながる力 | 傾聴 |
| 7. 聴くことだけでなく互いに助け合うことでつながる力 | ピア・サポート |

参考・引用「教師間のチームワークを高める40のコツ」諸富祥彦